

**スマレジ**

**第15期第3四半期  
決算説明資料  
FY2020 3Q**

2019.5.1～2020.1.31

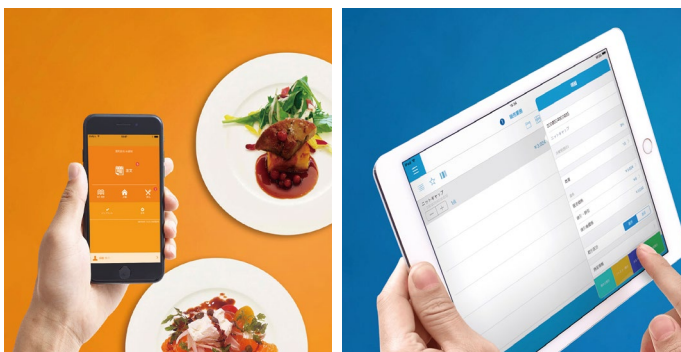
Presentation Material

株式会社スマレジ 証券コード：4431

P3	事業の説明
P6	2020年4月期3Q 決算概要
P18	事業の状況
P27	2020年4月期 業績の見通し
P33	今後の展望

# 事業の説明

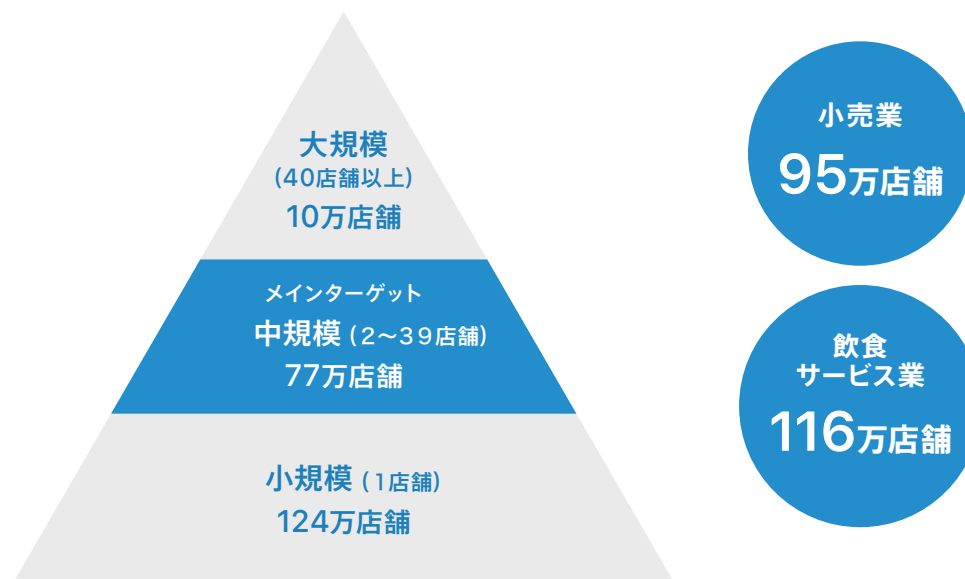
ABOUT SMAREGI



## 高機能クラウド型 POS レジ

スマレジは、売上分析や高度な在庫管理など、小売業や飲食・サービス業の店舗運営の効率化を実現する従来型 POS レジシステムの枠を超えた、クラウドベースの新しい POS レジシステムです。

次バージョンのスマレジ 4.0 では、スマレジの販売データ (POS データ) を中心としたプラットフォーム展開を行います。

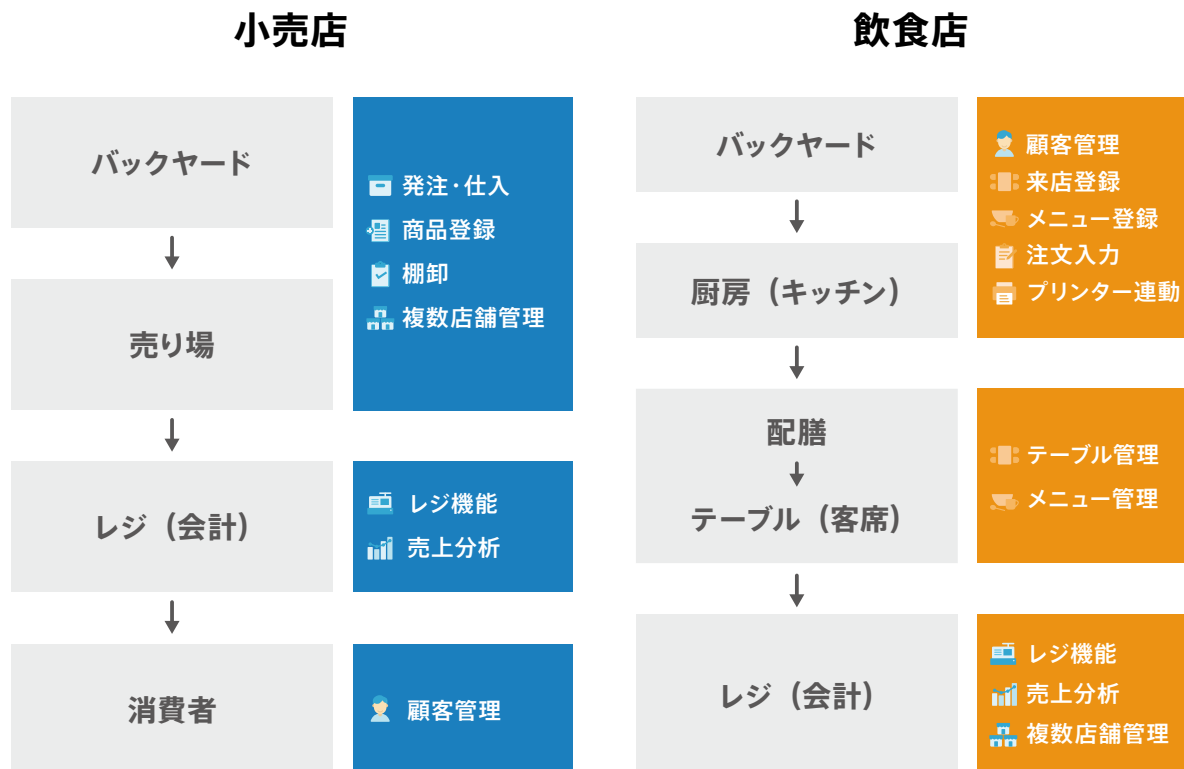


経済産業省・総務省「平成28年経済センサス」の調査結果を基に当社作成。企業の従業者数別データを基に1店舗あたりの従業者数を7.9人として従業者別の店舗数を推計しています。(小売業の1店舗あたりの従業者数：7.9人)

※コンビニエンスストア約5万店舗を省いています。

# スマレジの機能

小売業や飲食・サービス業の業務に必要な機能を提供し、業務効率の改善に貢献  
スマレジの活用による業務効率化を通じて、働きやすい社会の実現を目指します



1店舗から600店舗以上を運営する事業者まで幅広いお客様にご利用いただいております。

# 2020年4月期3Q 決算概要

FY2020 2019.5~2020.1

- 売上高は、前期比**186.6%**の25億2千8百万円と大きく成長し、**通期業績見通し**に対して、**進捗率82.1%**で着地
- 営業利益は前期比**236.5%**の7億8百万円と大きく成長し、**通期業績見通し**に対して、**進捗率110.3%**で着地
- 当社会計期間において**第3四半期会計期間 (11月~1月)** は、**閑散期にあたるものの**、売上高は前年同四半期比**146.5%**の7億2百万円で着地し、営業利益は**147.0%**の1億8千1百万円で着地
- 6期連続増収と4期連続増益に向け、業績は好調
- 新型コロナウイルスによる3Q業績への影響はナシ

# 業績ハイライト

2020年4月期3Q 決算概要

8

2020年4月期の通期売上高計画3,080百万円に対し、3Q実績は2,528百万円と進捗率82.1%  
営業利益計画642百万円に対し、3Q実績は708百万円と進捗率110.3%で着地。4Qの事業投資を  
見込み、通期業績計画は修正せず

(百万円)	2020年4月期 3Q 実績 (2019年5月-2020年1月)	2019年4月期 3Q 実績 (2018年5月-2019年1月)	前年同期比 YoY	2020年4月期 計画 (2019年5月-2020年4月)	2020年4月期 3Q 達成率
売上高	2,528	1,354	186.6%	3,080	82.1%
営業利益	708	299	236.5%	642	110.3%
経常利益	708	291	243.2%	642	110.4%
四半期 (当期) 純利益	486	203	239.1%	440	110.5%

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※2019.9.6付けで2020年4月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正を開示いたしました。



# 貸借対照表

2020年4月期3Q 決算概要

9

自己資本比率85.7%と高い水準を維持

(百万円)	2020年4月期 3Q (2019年5月-2020年1月)	2019年4月期 3Q (2018年5月-2019年1月)	前年同期比 YoY	2020年4月期 2Q (2019年5-10月)	前四半期比 QoQ
流動資産	3,324	836	397.5%	3,332	99.7%
うち現預金	3,076	657	467.7%	2,983	103.1%
固定資産	480	324	148.0%	354	135.4%
資産合計	3,804	1,160	327.7%	3,687	103.2%
流動負債	489	287	170.2%	500	97.8%
固定負債	53	121	44.1%	49	109.6%
負債合計	543	409	132.6%	549	98.8%
純資産合計	3,261	751	434.0%	3,137	103.9%
負債・純資産合計	3,804	1,160	327.7%	3,687	103.2%

# 損益計算書 (累計期間)

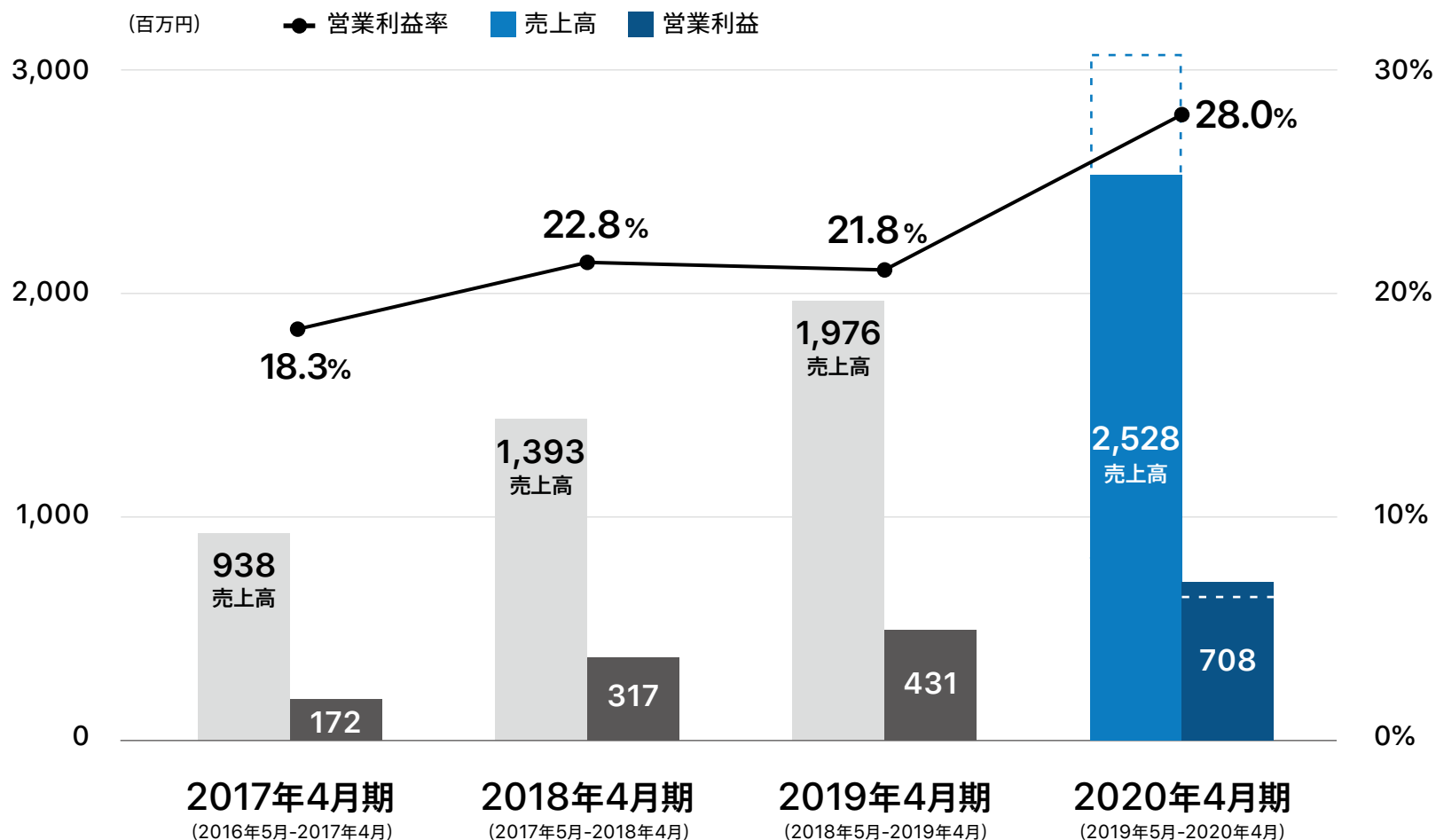
2020年4月期3Q 決算概要

10

(百万円)	2020年4月期 3Q (2019年5月-2020年1月)	構成比	2019年4月期 3Q (2018年5月-2019年1月)	前年同期比 YoY
売上高	2,528	100.0%	1,354	186.6%
売上原価	1,063	42.1%	556	191.2%
売上総利益	1,464	57.9%	798	183.4%
販売費及び 一般管理費	756	29.9%	499	151.5%
営業利益	708	28.0%	299	236.5%
経常利益	708	28.0%	291	243.2%
四半期純利益	486	19.3%	203	239.1%

# 売上高・営業利益・営業利益率の推移

2020年4月期通期計画に対して、3Q時点の売上高進捗率は82.1%、営業利益進捗率は110.3%  
4Qは、スマレジ4の開発や広告費用への資金投資を計画



# 四半期 損益計算書

2020年4月期3Q 決算概要

12

例年どおり3Qは閑散期にあたり、軽減税率特需の収束も重なり、売上高は前期より減少  
人員増加等による販管費が増加

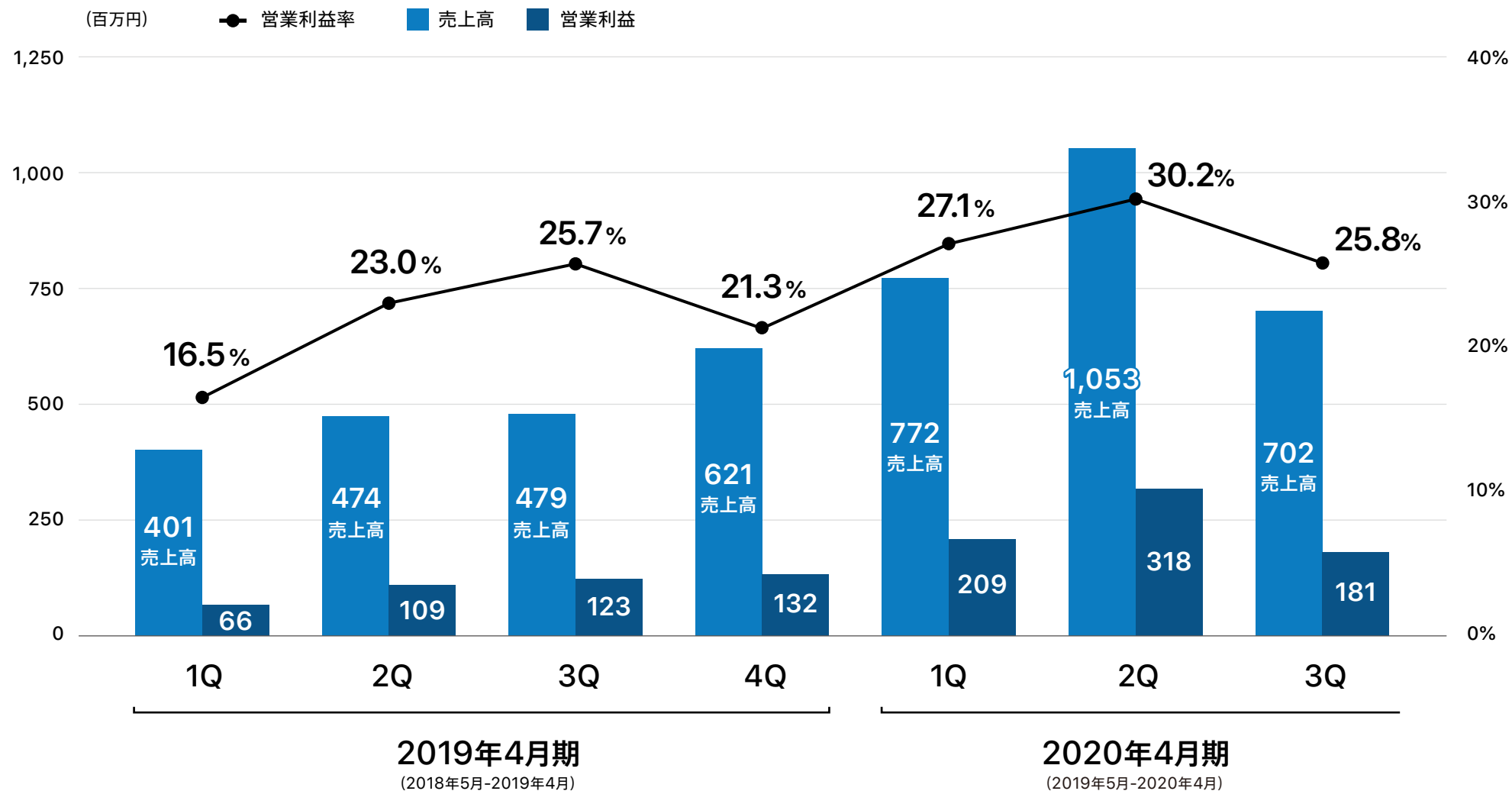
(百万円)	2019年4月期 (2018年5月-2019年4月)				2020年4月期 (2019年5月-2020年4月)			前四半期比 QoQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	401	474	479	621	772	1,053	702	66.7%
売上原価	164	201	190	269	343	483	236	48.8%
売上総利益	236	272	289	351	428	569	466	81.9%
販売費及び 一般管理費	169	163	166	219	219	251	285	113.5%
営業利益	66	109	123	132	209	318	181	56.9%
経常利益	66	109	115	117	209	318	181	56.9%
四半期純利益	48	76	79	89	144	219	123	56.4%

# 売上高・営業利益・営業利益率の四半期推移

2020年4月期3Q 決算概要

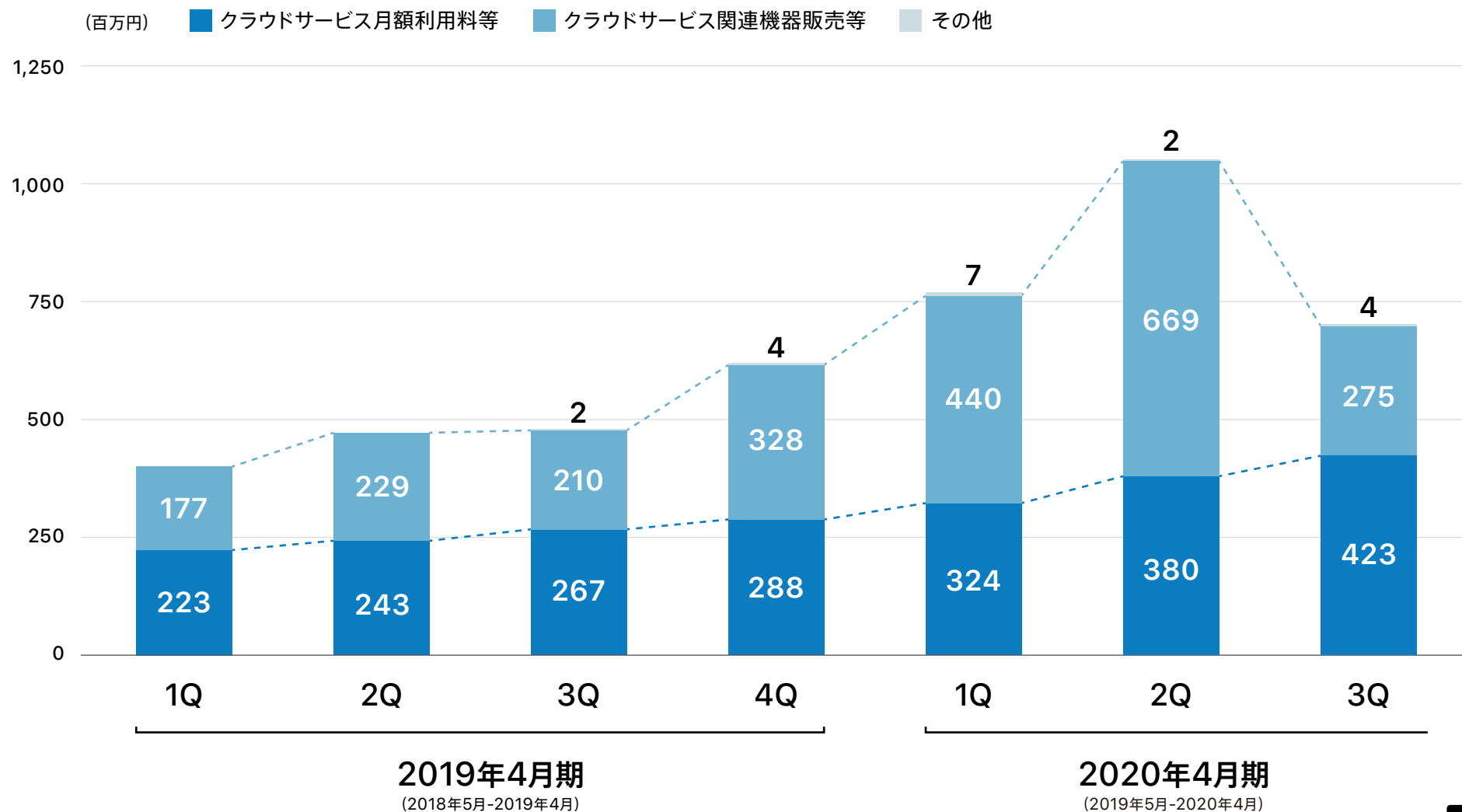
13

軽減税率特需が収束、例年どおり3Qは閑散期にあたるものの計画通りの進捗を達成



# 売上高内訳の推移

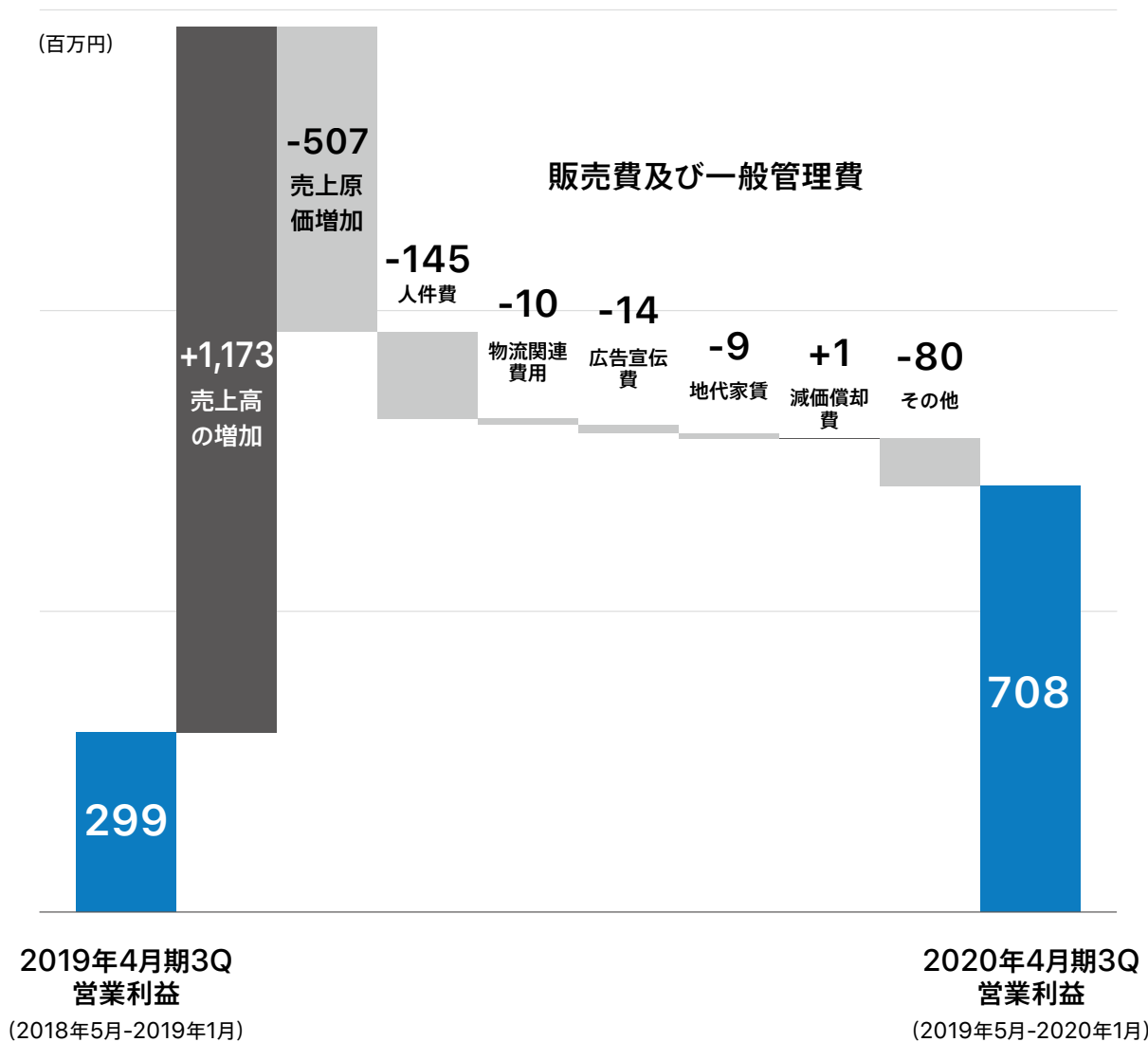
軽減税率需要の収束により、関連機器販売は従来水準に落ち着くも、サブスクリプション型ストック売上となる月額利用料は堅調に推移



# 営業利益の増減分析 (対前年同期比)

2020年4月期3Q 決算概要

15



## 売上高の増加

- 有料契約の増加 (有料店舗率が向上)
- 解約率の低さによるストック売上の増加
- 軽減税率によるレジ入れ替え需要の増加

## 売上原価の増加

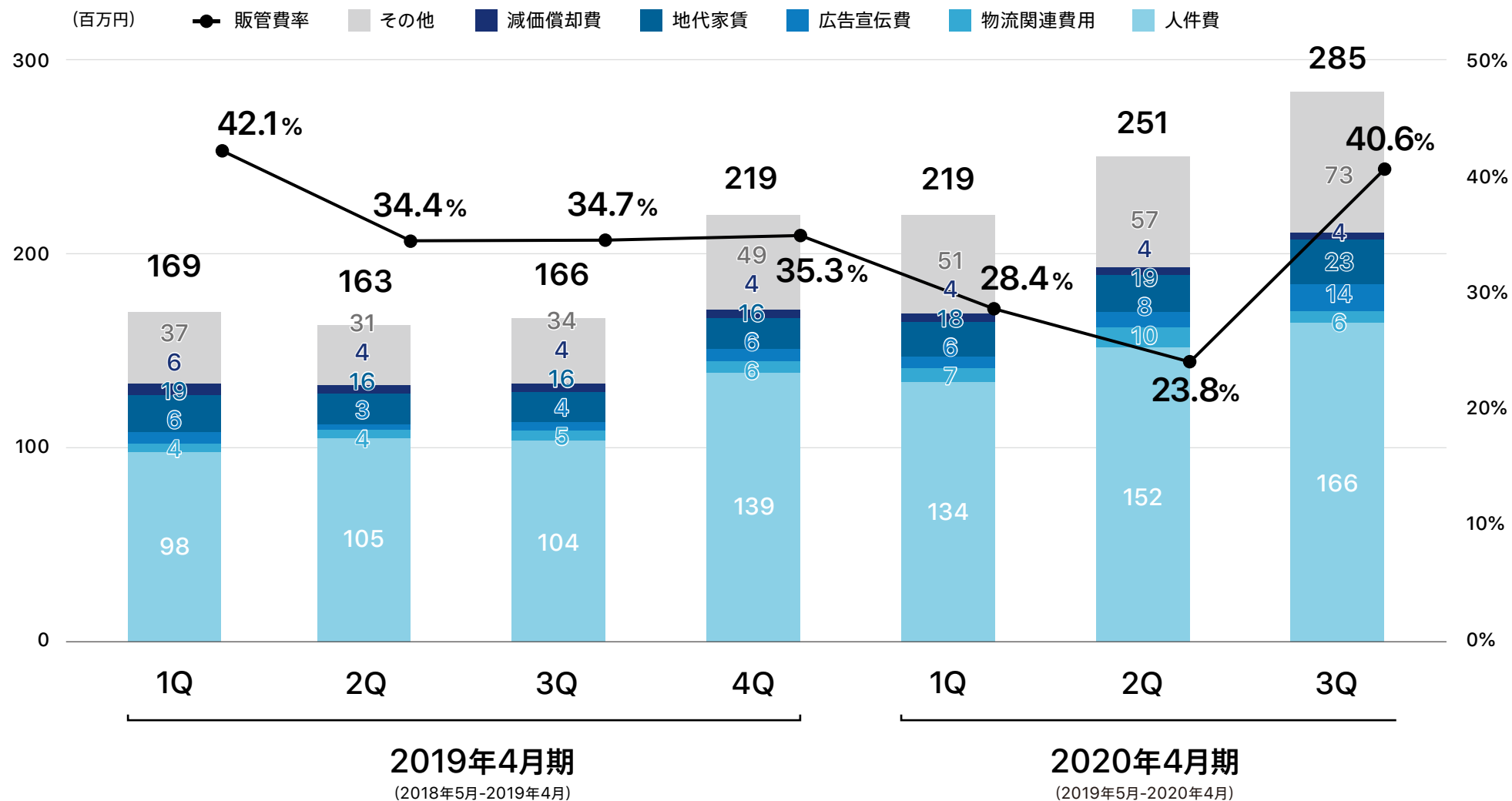
- 売上構成比の変化(関連機器販売の増加)に伴う機器仕入高の増加
- 売上高増加に伴うサーバー費用の増加
- 人員増加による人件費の増加

## 販売費及び一般管理費の増加

- 役員、従業員の増加に伴う人件費及び移動交通費の増加
- ショールーム、サポートセンターの増設
- 売上増加に伴う物流関連費用の増加

# 販売費及び一般管理費の四半期推移

人員増加に伴う人件費の増加等により、販管費率が40.6%に増加

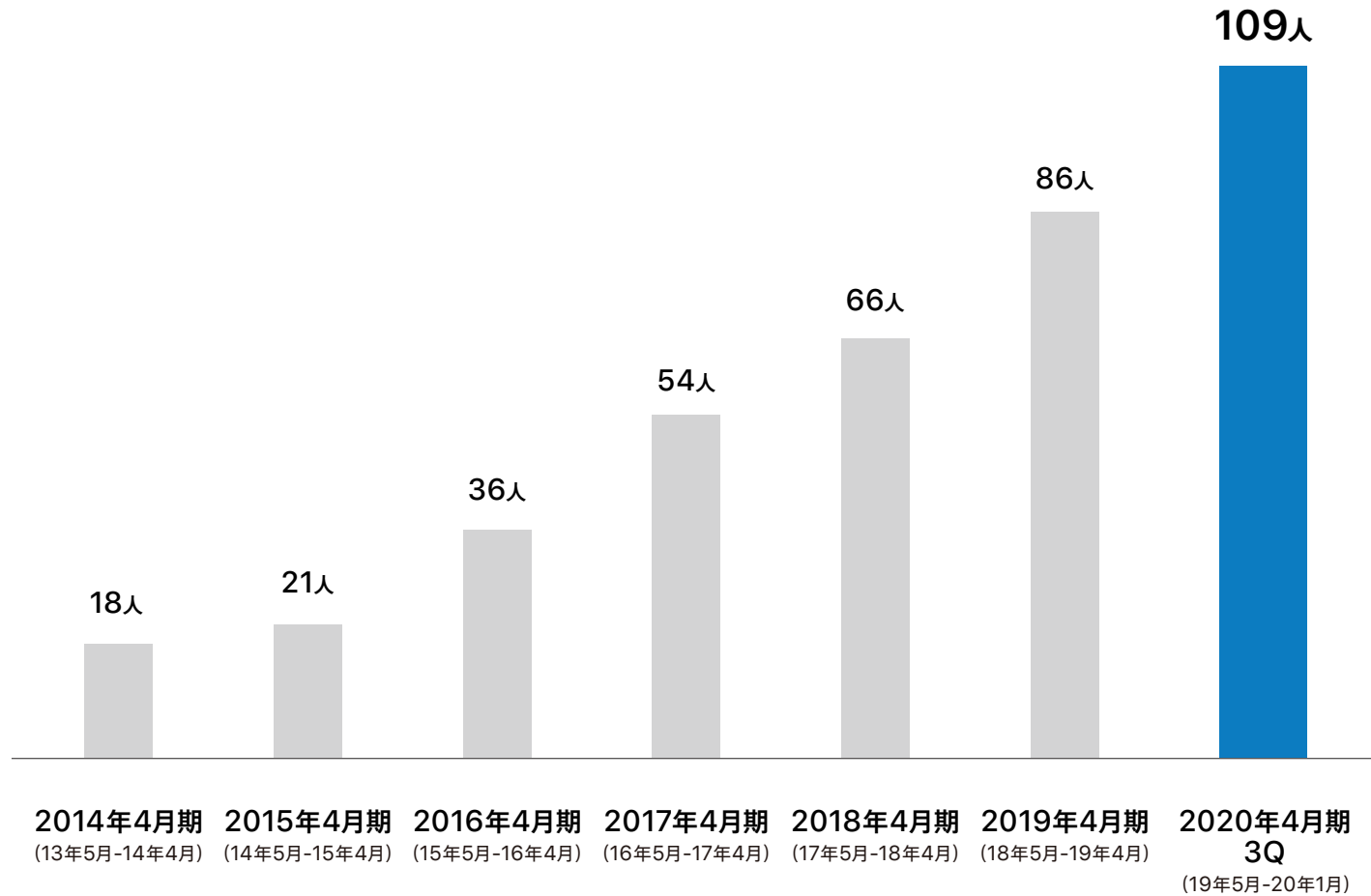




# 社員数の推移

幅広い年齢層を新規採用→平均年齢32.4歳

採用計画は順調、経済状況を見極めながら新規採用を継続→平均勤続年数2年4ヶ月



# 事業の状況

BUSINESS SUMMARY

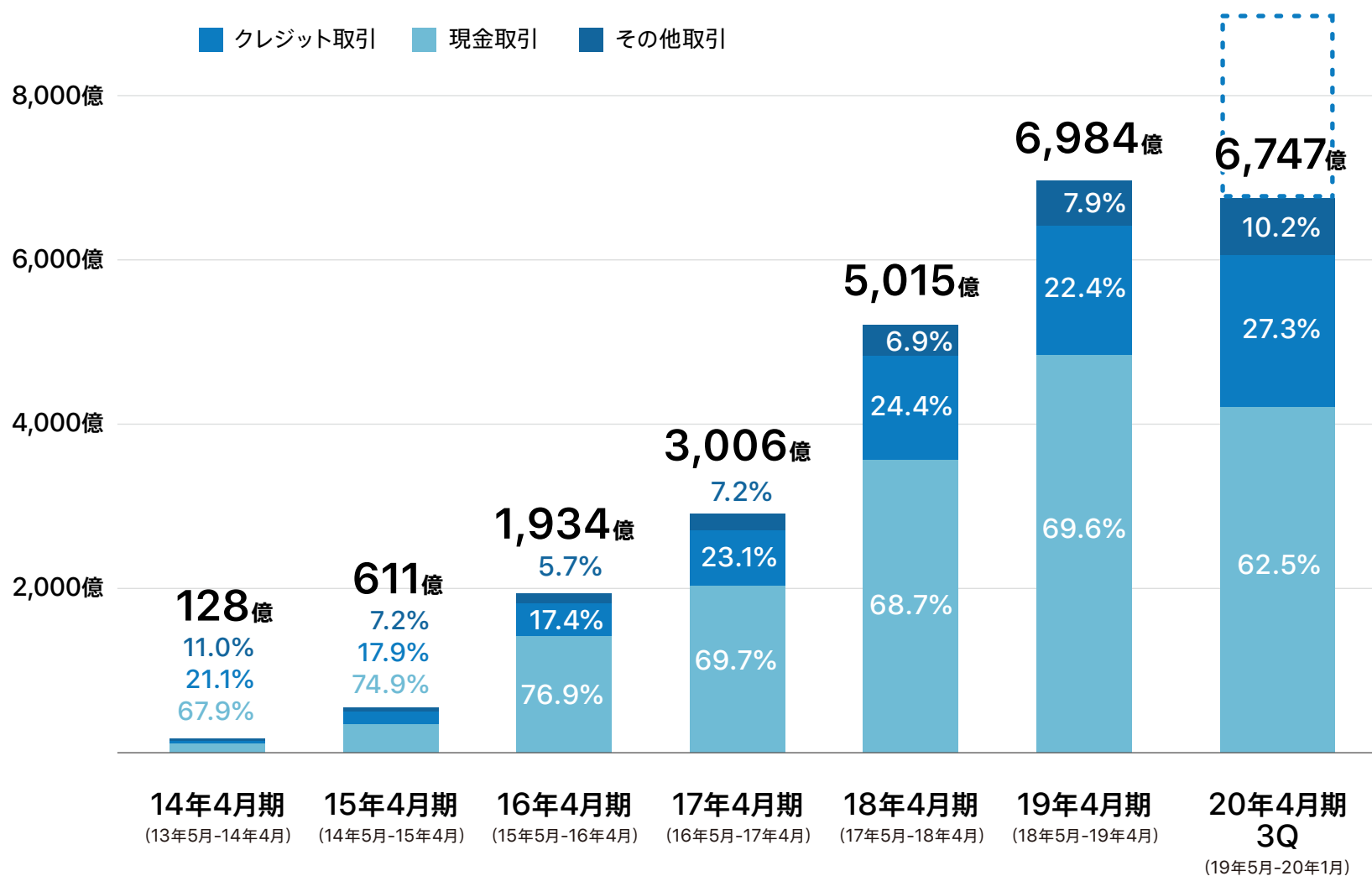
# 2020年4月期3Qのトピックス



- 2020.1
- 経営理念を刷新  
「OPEN DATA, OPEN SCIENCE!」
- 2019.12
- 株主通信「スマレジ Inside」の開始
- 2019.11
- スマレジ4 アプリ開発パートナーの募集開始
- 札幌サポートセンターを開設
- 代表取締役の山本が、EYアントレプレナーofザイヤーJapan 2019 ファイナリストに選出

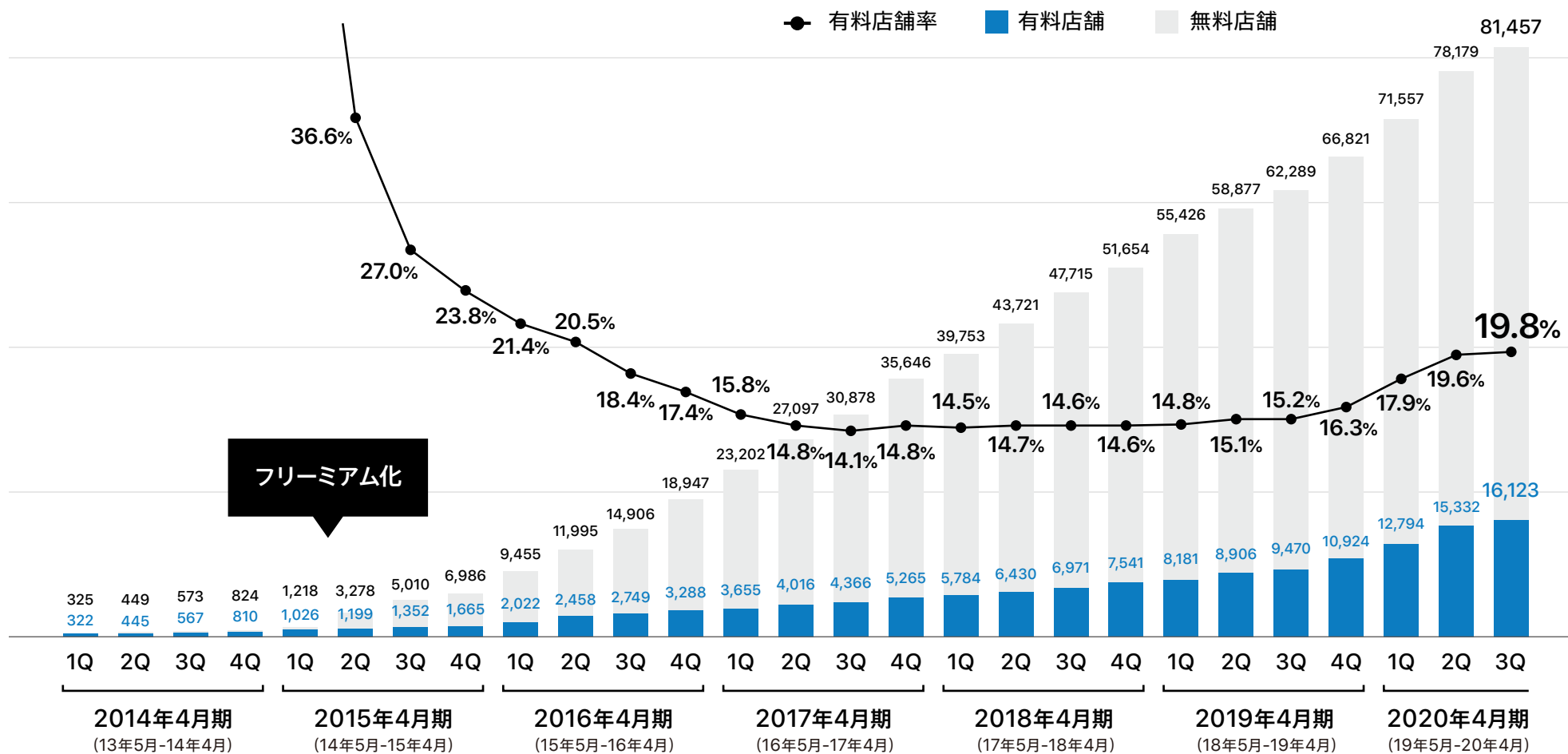
# 取扱金額の推移

2020年4月期3Q時点での取扱金額が前年度累計とほぼ同額に！推計年間取扱金額1兆円へ！



# 店舗数と有料店舗数の四半期推移

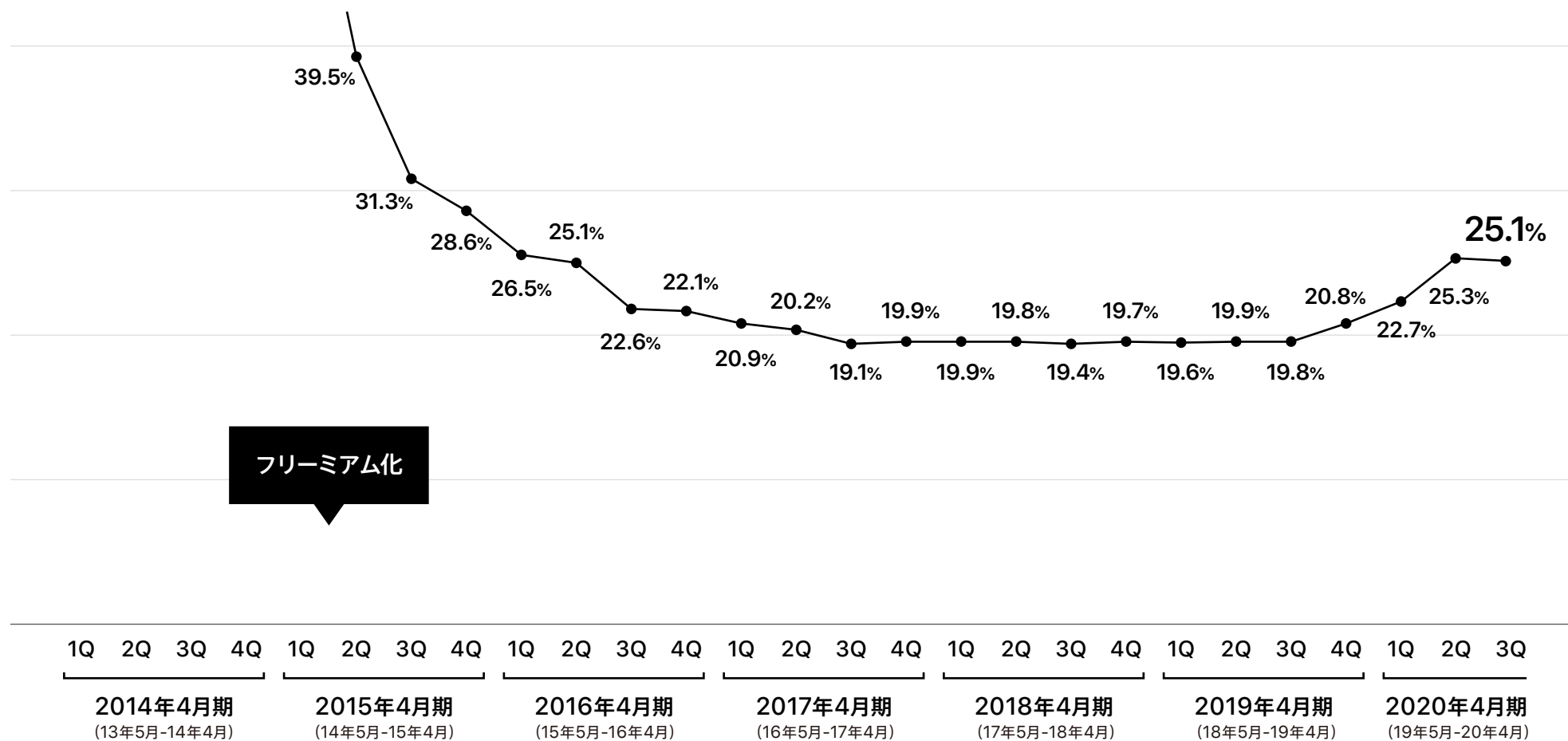
軽減税率特需による有料店舗の急増からさらに0.2ポイント上昇。有料店舗率が19.8%に



※2015年4月期にフリーミアム化を実施したことにより無料店舗が増加

# アクティブ店舗率 (無料プラン含む)

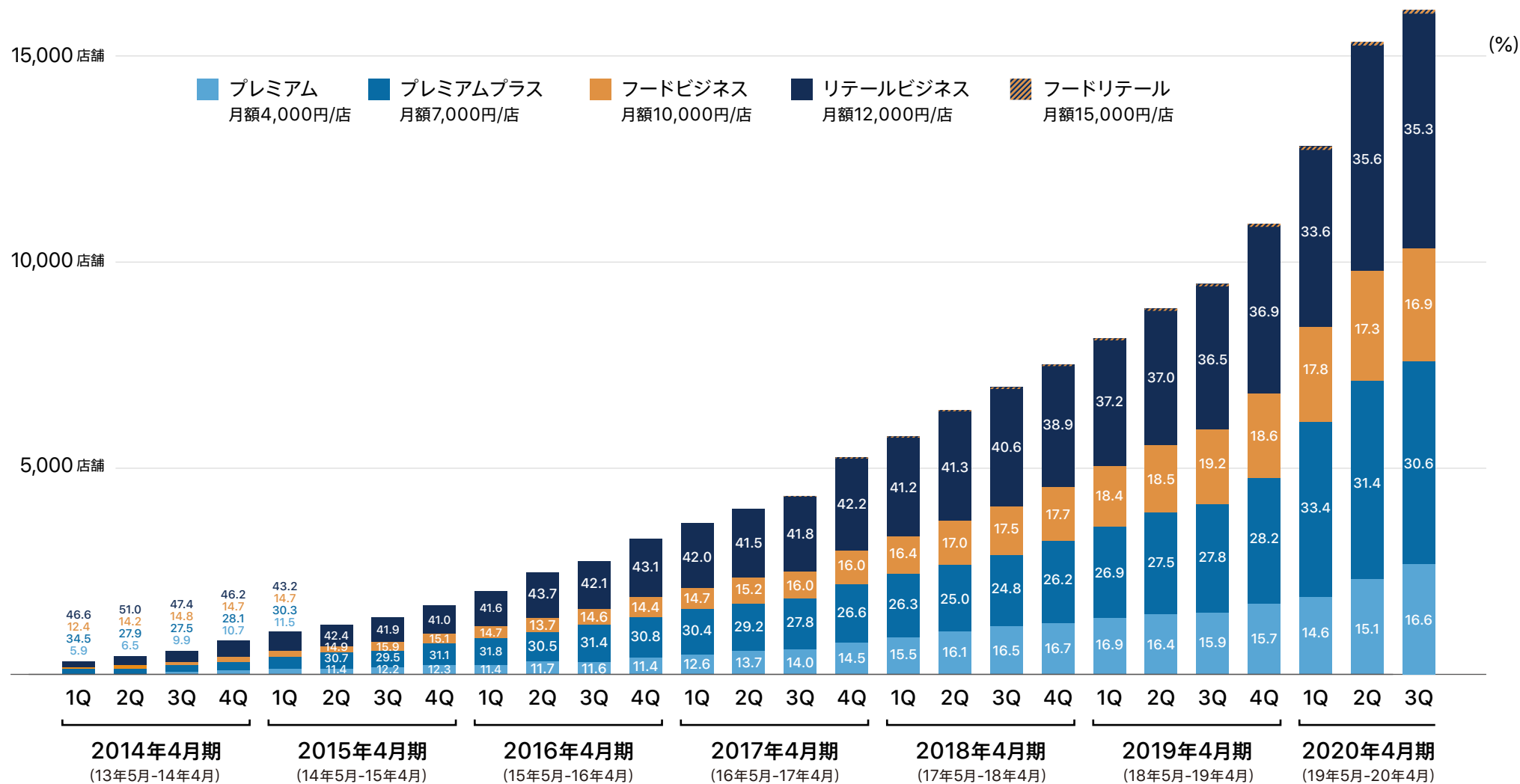
軽減税率需要の収束により、アクティブ店舗率は0.2ポイント微減し、25.1%に



プレミアム化

アクティブ店舗：当月の取引が存在する店舗

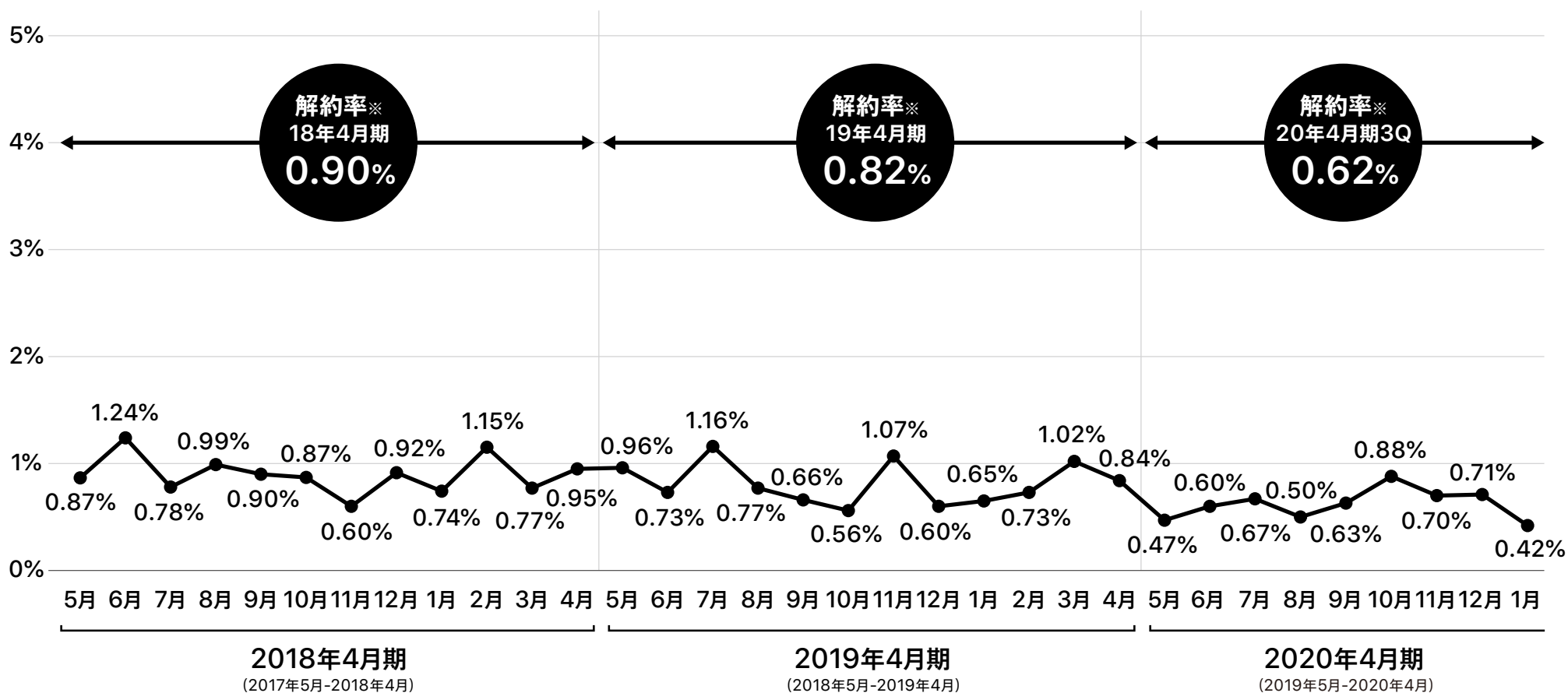
## 小売業向けリテールビジネスプランが人気。全てのプランで純増



※スタンダードプランをご利用の場合であっても、オプションによって有料になっている場合がありますが、有料プランには含んでいません。

# 解約率の推移

低い解約率がサービス品質を証明。2020年4月期3Q平均解約率は過去最低水準の0.62%を記録

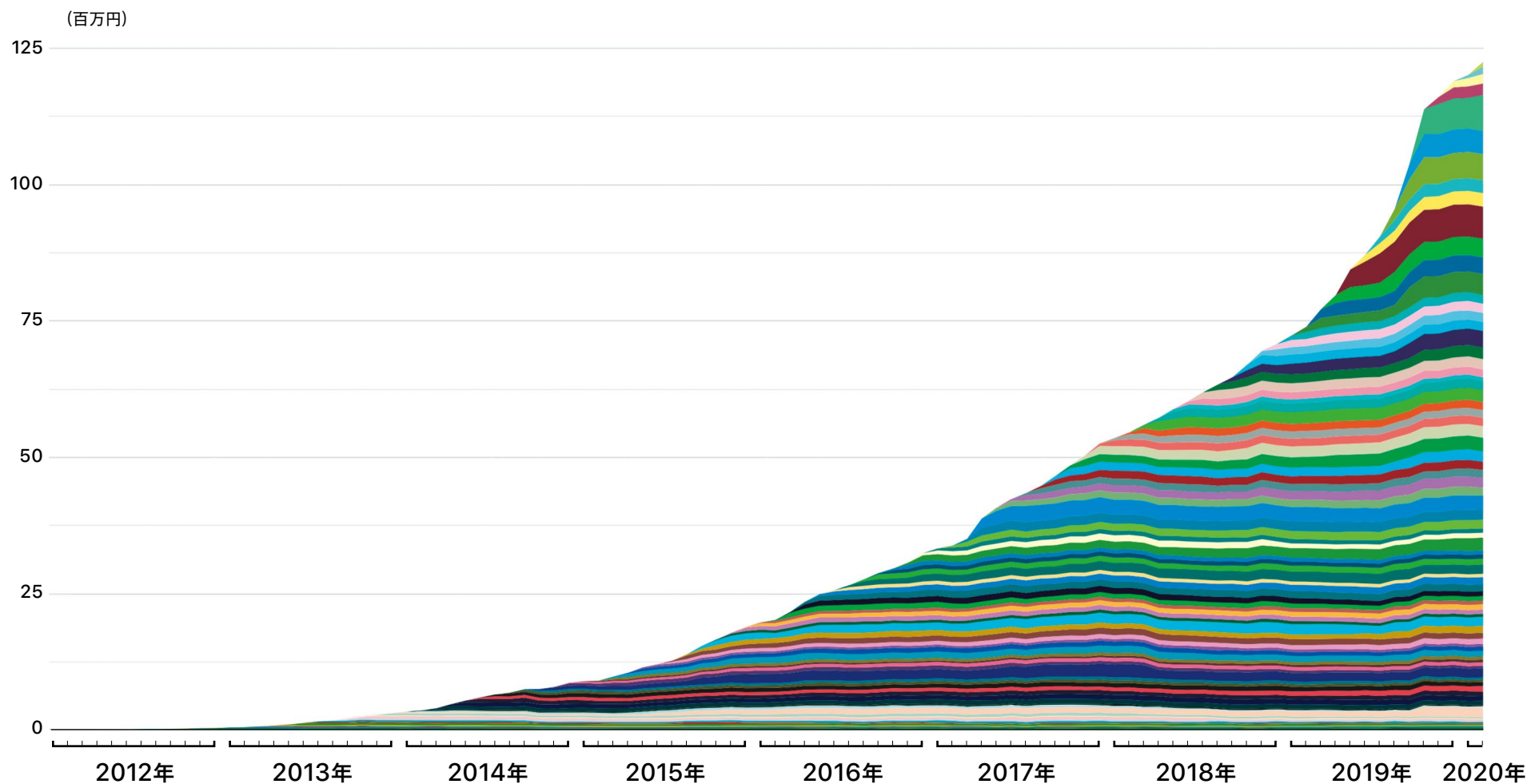


※解約率：MRRチャーンレート（既存顧客の月額利用料に占める解約により減少した月額利用料の割合）



# サービス開始月別 月額利用料金の推移

## 月次でネガティブチャーン※を継続



※ネガティブチャーン：解約に伴って減少する月額利用料金を、新規利用等によって増加した月額利用料金が上回る状態

# 中小企業向け業務システムへの取り組み

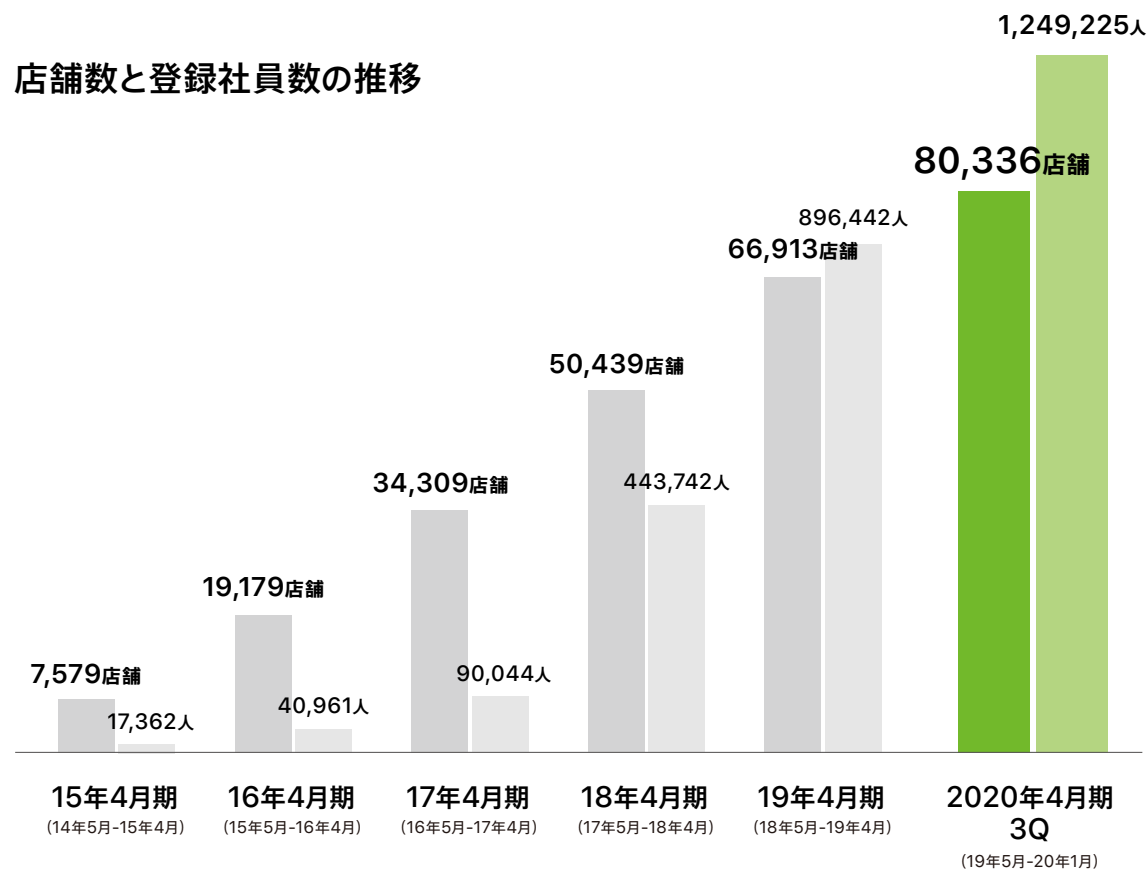
働き方改革などの社会的背景により、HR系サービス「スマレジ・タイムカード」が好調  
顧客単価の向上だけでなく、新規顧客の開拓にも貢献



## 勤怠管理の枠を超えた、 これからの勤怠管理サービス

簡単に給与計算ができる勤怠管理システム。  
休暇管理、シフト管理、日報、プロジェクト  
管理などの機能をはじめ、各種保険や税計  
算、複雑な賃金体系にも対応しています。

### 店舗数と登録社員数の推移



# 2020年4月期 業績の見通し

BUSINESS PLAN FOR FY2020

- 新型コロナウイルスによる経済への影響について、引き続き注視すべき状況が続く
- 消費税増税に伴う軽減税率への対応による駆け込み需要が当初予想を上回ったことから、9月には**第2四半期及び通期の業績を上方修正**
- 売上高は、通期30億80百万円 (**前期比155.9%**)、営業利益は、通期6億42百万円 (**前期比148.8%**) と高い成長率を見込む
- 通期の計画に対して、3Q時点で売上高進捗率は**82.1%**、営業利益進捗率は**110.3%**
- 4Qは、特需で得た利益を事業への投資に活用予定
- 4Qは、販管費がかさむ為、**一時的な**営業利益率の低下を見込むが継続はしない

# 2020年4月期 通期業績ハイライト

2020年4月期 業績の見通し

29

軽減税率対策補助金の終了後、機器販売は2Qに比べ減少予想

新規契約獲得により月額利用料の底上げになったことから、継続的な売上増を予想

(百万円)	2019年4月期 (2018年5月-2019年4月)		2020年4月期 (2019年5月-2020年4月)				
	3Q	4Q	3Q		4Q		
	実績	実績	実績	前期比	計画	前期比	進捗率
売上高	1,354	1,976	2,528	186.6%	3,080	155.9%	82.1%
営業利益	299	431	708	236.5%	642	148.8%	110.3%
経常利益	291	408	708	243.2%	642	157.2%	110.4%
当期純利益	203	293	486	239.1%	440	150.3%	110.5%

※2019.9.6付けで2020年4月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正を開示いたしました。

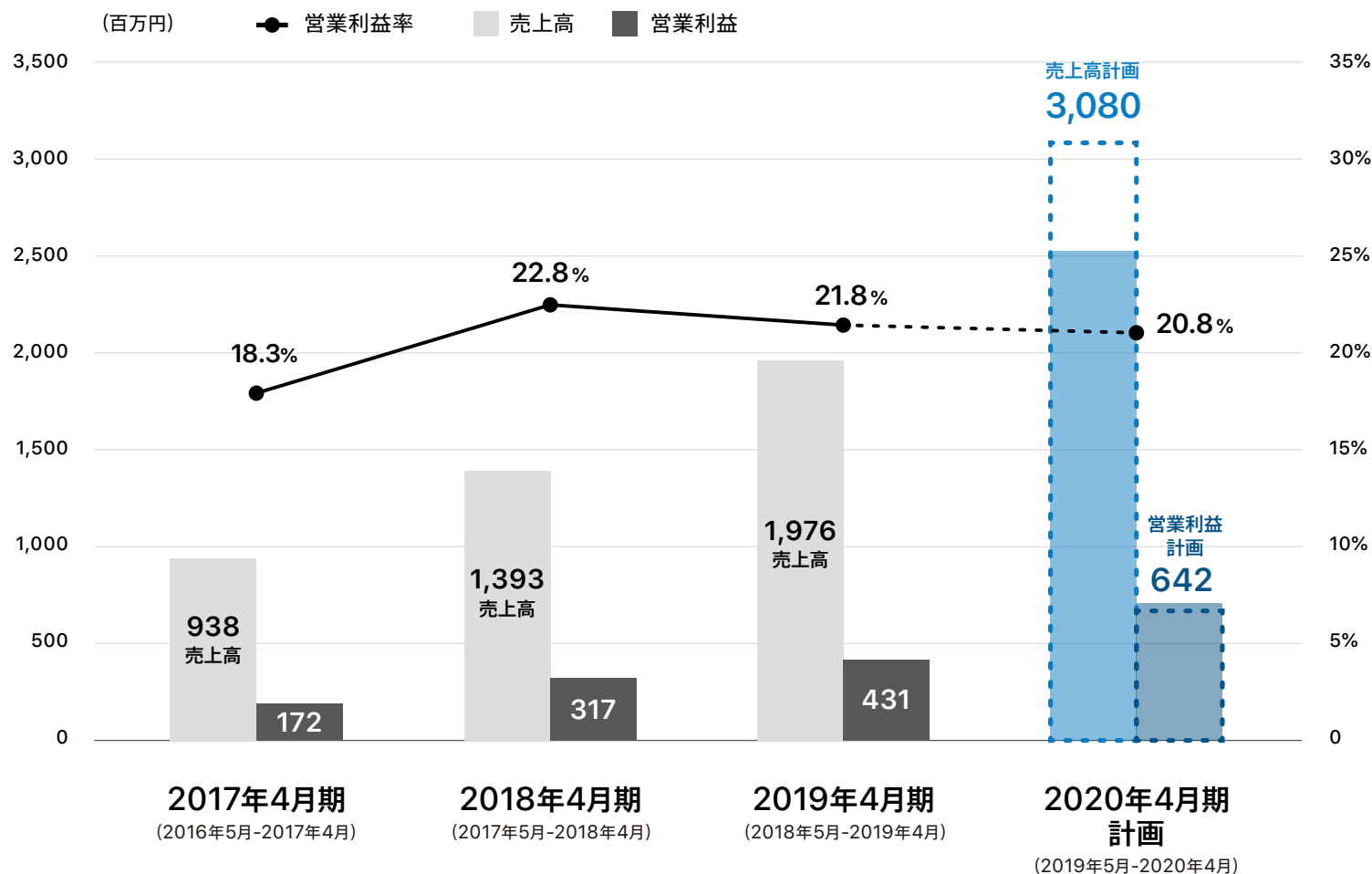
# 売上高・営業利益・営業利益率の推移（計画）

2020年4月期 業績の見通し

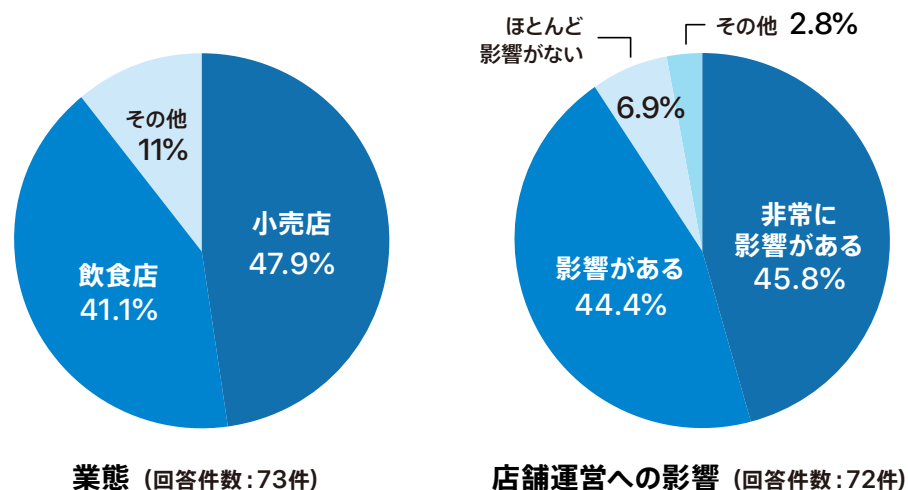
30

広告費や採用強化、バージョンアップによるサービス強化等、上場時の調達資金を有効活用  
販管費の増加により、営業利益率は一時的に低下

通期営業利益計画に対して3Q進捗率110.3%、4Qの事業投資を見込み、通期業績計画は修正せず



## 新型コロナウイルスによる店舗運営への影響実態を把握する為、スマレジ利用店舗の皆さまにアンケート調査を実施



アンケートの結果、90%以上の店舗で「影響がある」と回答。外国人観光客の激減によるインバウンド需要減や内需自粛ムードから、一時的な休業を余儀なくされた店舗が発生する等、かなりの店舗に影響が及んでいることが発覚。

株式会社スマレジ「新型コロナウイルス感染症の店舗への影響に関するアンケート結果報告」  
[https://smaregi.jp/news/press/20200303\\_survey.php](https://smaregi.jp/news/press/20200303_survey.php)

## 以上のことから、売上高が激減した店舗に対する支援策として、スマレジ月額利用料減額制度を開始※ 利用者救済及び継続利用を促進 (2020年3月~4月)

売上高が前年同月比50%未満の店舗	スマレジ月額利用料 <b>30%OFF</b>
売上高が前年同月比30%未満の店舗	スマレジ月額利用料 <b>無料</b>

※月額利用料減額制度が、当社業績へ与える影響は軽微であると想定しています。

## 今後の影響について

### プラス要因

- 高額な従来型POSレジから安価なスマレジへ乗り換える需要の増加
- 不況を機に「どんぶり勘定」をやめ、スマレジ導入で経営の可視化を図る店舗の増加
- 景気に左右されない医療系・調剤薬局等への導入促進

### マイナス要因

- スマレジショールーム予約の減少
- イベント向けレンタル案件の減少
- 新規出店の延期・見送りによる案件減少

**スマレジは、リーマンショック期に考案された不況時にも需要のある強いサービスです。新型コロナウイルスによる影響を注視しながら、積極的に最善策を実施して行きます。**

あくまで当社推測による見解であり、現時点で確定されたデータではありません。

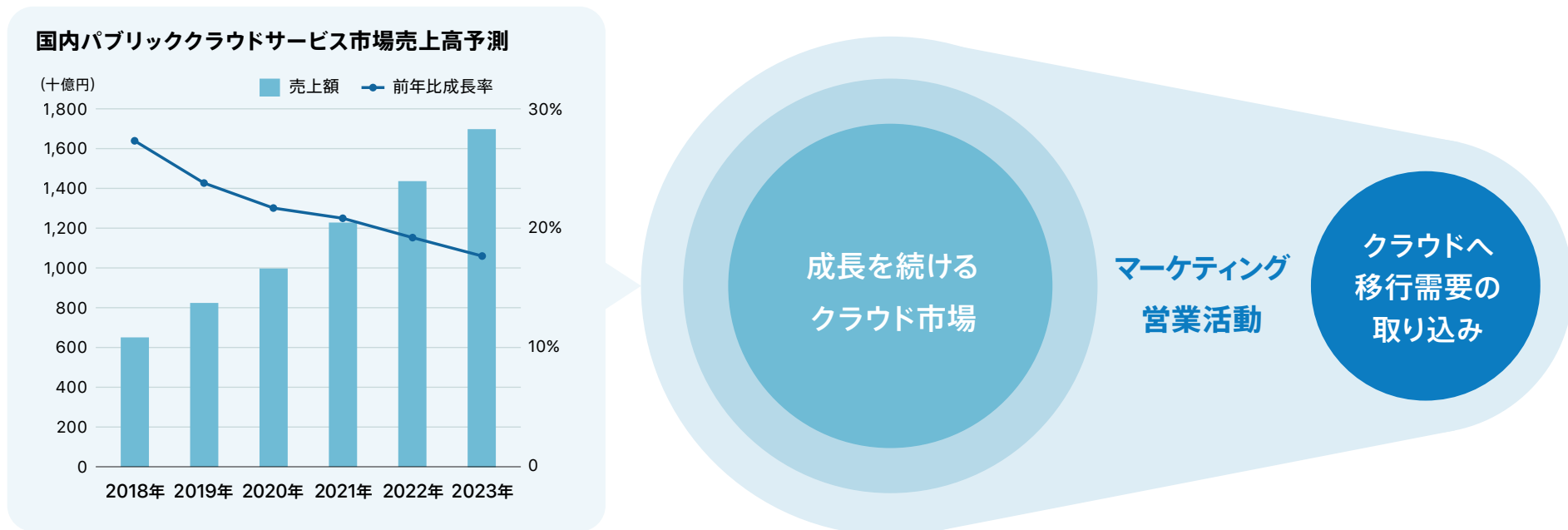


# 今後の展望

MEDIUM TERM PLAN

## SaaS含むパブリッククラウド市場は、今後も継続して成長

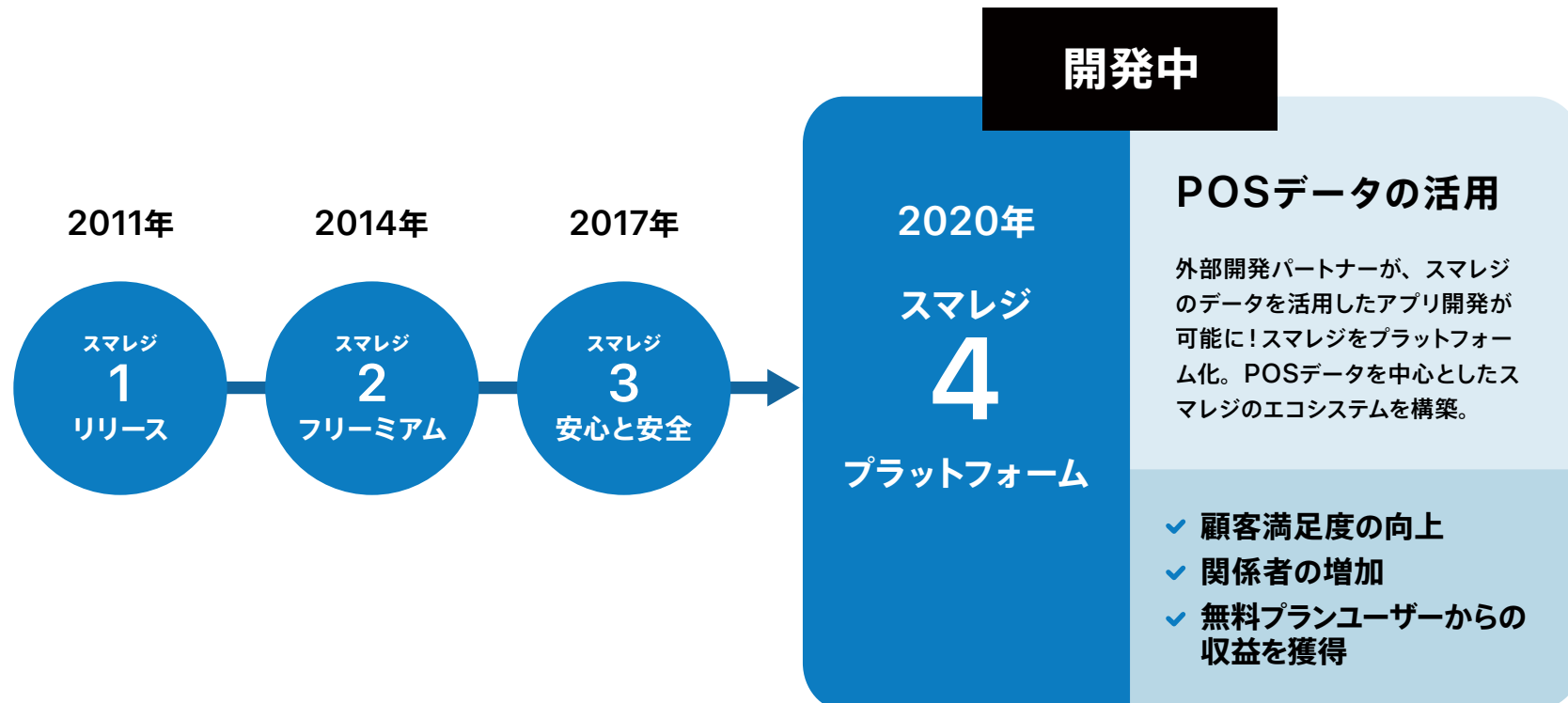
上場による認知や信頼性の向上により、大型案件や軽減税率に関係しない案件数も着実に増加  
POSレジのクラウド化を率先し、業界を牽引する



データ参照：国内パブリッククラウドサービス市場予測、2018年～2023年（IDC Japan, 3/2019）

# スマレジのバージョンアップ

顧客満足度の向上と陳腐化防止により定期的な大幅アップデートを実施  
蓄積される販売データ (POSデータ) を中心にスマレジをプラットフォーム化



本資料に記載されている事業計画、業績予測などの将来の見通しに関しては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断したものです。これら将来の見通しは、市況や政治・経済状況など様々な不確実性を含むものであり、実際の業績とは異なる場合があります。

本資料は、当社株式の購入や売却等の投資勧誘を目的とするものではありません。投資は、ご自身の判断のもと、ご自身の責任において行なっていただくようお願いいたします。

**FY2020 3Q** 2019.5 ~ 2020.1

2020年4月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社スマレジ